

加古川平成ロータリークラブ

会長代行 林 知 宏
幹 事 原 田 悟
広報小委員長 畑 山 哲
2680 地区ガバナー 阪 上 栄 樹

例会日/毎水曜日 12:30~13:30・例会場/加古川プラザホテル
事務局/加古川市加古川町溝之口 800 加古川商工会議所会館
Tel. 079-422-8000 FAX. 079-422-8100

ホームページ <http://www.k-heisei-rc.jp/> / Eメール heiseirc@basil.ocn.ne.jp



イマジン
ロータリー

2022~2023 年度 RI 会長 ジェニファーE. ジョーンズ

No. 1507 December 7、2022

例会プログラム

第 17 回 (12 月 7 日)

「年次総会」
(被選会長指名・理事選挙)

原田 悟 幹事

例会当番 鳥井

次週例会プログラム

(12 月 14 日)

卓話
「ガラスの歴史と進化」

山本 裕一 会員

次週例会当番 畑山

前週例会報告

- ◇ ゲスト 東播第2グループガバナー補佐 濱田 喜重氏
ガバナー補佐随行 都倉 隆宏氏
- ◇ ビジター
- ◇ 出席率 会員数 16 名 出席数 8 名 欠席数 6 名 出席率 57.14%
出席計算会員数 14 名 10 月 26 日 補正出席率 93.33%
- ◇ 欠席者 6 名 井上 柴田 鈴木 藤田 松尾 宮宅
- ◇ メークアップ 2022 年 11 月 27 日 職業奉仕公開員会 林 宮宅 畑山 鳥井 金川
2022 年 12 月 3 日 社会奉仕セミナー 鳥井



★ 会長の時間

★ 出席報告

★ 濱田ガバナー補佐

会長の時間

副会長 林 知宏

本日は濱田ガバナー補佐、都倉随行をお迎えしております。

先日の公開職業奉仕セミナーについて訪問されております。

東播 GP のこのセミナーは地区委員長大内さんの名を受けて濱田ガバナー補佐によるマネージメントにより開催されております。準備など大変ご苦労されたとおもいますがまずは成功裡に終わりました。またセミナーに参加の方々はどうもありがとうございました。

入会浅の会員をベースに開催されておりますが、参加された当クラブ会員の皆様はどうお感じになられたのでしょうか。

最初は安平パストガバナーによる職業奉仕の講和を日本的にわかりやすいたとえでされ、皆さんもわかりやすかったのではないのでしょうか。

資料もいただいておりますので、皆さんで回覧していただければと思います。

よく聞かれる質問ですが、職業奉仕ってなんですかといわれたらなんと答えましょうか。

自身の職業を通じて顧客に対し何かの取引や請負に対価を頂いて引き渡す。ここで顧客と自身との間に愛情と満足を与えてこそ職業奉仕といえると思います。すでに皆さんはそれを実行しているからこそ皆さんの事業が継続してあるわけです。これを職業奉仕という学問や哲学として学ぶ、ここが意識できるかどうかで職業奉仕における皆さんの満足感が満ち溢れてくるということにつながります。このあたりが、うまく運ぶようになると社会奉仕、国際奉仕の目がでてまいります。よく言われるのは、職業奉仕が樹木の幹にあたりその果実が社会奉仕国際奉仕ということで考えるとわかりやすいかと思えます。

ロータリーの歴史を顧みますとロータリーも最初はこういった考え方もない親睦団体だったところからの変遷も知識として持っていただくとなおロータリーのいう奉仕の理想、4つのテストがより深くわかるのではないかと確信いたします。

本日の幹事報告

※ 例会欠席の時は必ず事前に事務局へ連絡！

① 高砂RC例会变更のお知らせ

1月13日(金) → 休会【定款第7条第1節(d)による】

1月27日(金) → 1月28日(土) 東播第2グループ I.M. 於；ウエディングパレス鹿島殿

② 回覧します

- ・ The Rotarian November、2022 (ロータリーマガジン誌)
- ・ (公財)ひょうご子どもと家庭福祉財団より、「財団だより第49号」
- ・ 2021-22年度一般社団法人ロータリーの友事務所事業報告書

③ Boxに月信、Rの友、2022-23年度東播第2グループ I.M. 開催のご案内を入れています。

④ 例会終了後に商工会議所B1で定例理事・役員会を開催します。

12月のお祝い・おめでとう

誕生日： 該当者なし

在籍年： 該当者なし



SONG TODAY

もろびと こぞりて



賛美歌 第112番、主イエス・キリスト 降誕の歌

諸人こぞりて むかえまつれ

久しく待ちにし 主は来ませり

主はきませり 主は 主は きませり



クラブ会報・雑誌
記録小委員会

世界中で活躍する「世界を変える行動人」

2022年12月

米国



コンウェイ・モーニング・ロータリークラブ（アーカンソー州）は、州の里親制度下にあるすべての子どもたちに誕生日のメッセージを届けることを目指しています。1月から9月までで2,100枚以上の誕生日カードが郵送されました。年間で3,700人に届けられる見込みです。「子どもたちはこれまでの人生で辛い思いや不安な思いを体験してきました。ですが、特別な1日を毎年祝ってもらえて、周りの人から本当に大事に思ってもらえているんだと実感できることで、この先生きていく希望も生まれるはずだと私は強く思うのです」と、このキャンペーンを立ちあげた同クラブ会員のマイク・アルトランドさんは言います。Arkansas Division of Children and Family Services（アーカンソー州児童家庭サービス）と、教会と協力して子どもと里親のマッチングを行うアーカンソー州のNPOであるThe Callと連携して、十何人のロータリアン・ボランティアが誕生日カードの作成と送付を行っています。この地域に工場を有するAmerican Greetingsが提供したカードと封筒は、2年分はあるだろうとアルトランドさんは予想しています。

メキシコ



グアダラハラ・インターナショナル・ロータリークラブは、貧しい地域出身の女子を対象に韓国の格闘技テコンドーの訓練を3月に開始しました。「Reconoce Tu Poder（自分の力を認識しよう）プログラムで、何十人もの女子が訓練を受けました」と同クラブの前会長であるクリエーターのバーサ・サンチェス・ガルシアさんは言います。テコンドー茶帯のサンチェス・ガルシアさんとグアダラハラ・ロータリークラブ会員のスレマ・フェルナンデス・サリニャーナさんは、メキシコ随一の女性テコンドー選手でオリンピック出場経験のあるパトリシア・マリスカル・アルカラさんの力を借りて、マニュアルとトレーニングプログラムを開発しました。「プログラムを修了したときには、すべての女子が、板を蹴って打ち破って、障害物を倒す力が自分にはあるのだと自覚できるようになります」とサンチェス・ガルシアさん。この取りくみは他の2つの町と、さらにインドでも他のロータリークラブによって行われています。

ドイツ

ローゼンハイム・インシュタット・ロータリークラブが実施したプロジェクトは、ごく素朴な贈り物が子どもたちに喜びをもたらし、贈答者にも喜びをもたらすことができることを教えてくれます。過去 5 年間、同クラブは会員から寄付を募り、クリスマスプレゼントを購入するために毎年約 1,500 米ドルを集めてきました。2021 年の遠出で 33 人の子どもたちに届けられたギフトには、おもちゃや衣類が入っていました。「子どもの願い事リストに載っているようなものは何でも、です」とクラブの前会長ハンス・ゲオルグ・シュミットさんは言います。現地の援助団体が受取人を選定しました。「ある女の子はスカートが欲していました。スカートを買う余裕は一家にはなかったのです」とシュミットさんは言います。別の女の子は念願の香水を手に入れました。12 人の同クラブ会員が買い出しと包装、配達を手配しました。



イタリア



欧州連合では毎年最大 1 億 6900 万トンの未使用食品が浪費されており、手をつけていない食べ物をレストランから持ち帰るイタリア人は約 40 パーセントのみです。アックイテルメ・ロータリークラブは、ピエモンテ州の農業食糧局と協力して、4月に *ciapa e porta a cà* (残飯を持ち帰ろう) プロジェクトを開始しました。レストランや B&B、それに農家に、リサイクル可能で堆肥化可能な箱やワインバッグを提供しています。同クラブ前会長のジャコモ・ゲリーナさんは、食品の廃棄物を減らし、地元の農家が生産する高品質の食品の良さを知ってもらおうとホスピタリティ業界の人びとに働きかけていると説明します。

インド

2018 年のモンスーンシーズンで第 3201 地区の活動に感銘を受けたムンバイのテクノロジー会社の Atos Global IT Solutions and Services は、ロータリー会員と協力して企業の社会的責任を果たすプロジェクトを実施することを決定。二つのグローバル補助金プロジェクトに 30 万ドル近く寄付しました。そのうち約 25 万ドルは、2018-19 年度にコーチ (旧コーチン) にある八つのロータリークラブが参加したプロジェクトで、126 人の亡命者を収容するための 31 軒の安価シェルターを建設するのに費やされました。ケーララ州では、25 基の浄水場の設置を支援するための第 2 の補助金プロジェクトが進行中です。「インドのロータリーは、ボランティアベースのため運営コストがないも同然か最小限に抑えられているため、提携相手として最適だったのです」と、同社でシニアバイスプレジデントを務めるナシル・シェイクさんは言います。住宅補助金のコーディネーターであり、コーチン・ミッドタウン・ロータリークラブの元会長で現コーチン・タイタンズ・ロータリークラブ会員のダモダラン・ヴェラヌールさんは、このプロジェクトで建てた 14 坪の住宅を「持続可能で見事な人道的プロジェクト」だとして称賛しています。

